

紙芝居を用いた普及啓発の取り組み



南三陸町のキャラクター
オクトパス君



南三陸町 保健福祉課 健康増進係
保健師 小野かおり



みやぎ心のケアセンター気仙沼地域センター
精神保健福祉士 上杉亜矢

本日お伝えしたいこと



南三陸町の紹介



紙芝居を用いた経緯



打合せから制作まで



実施してみて



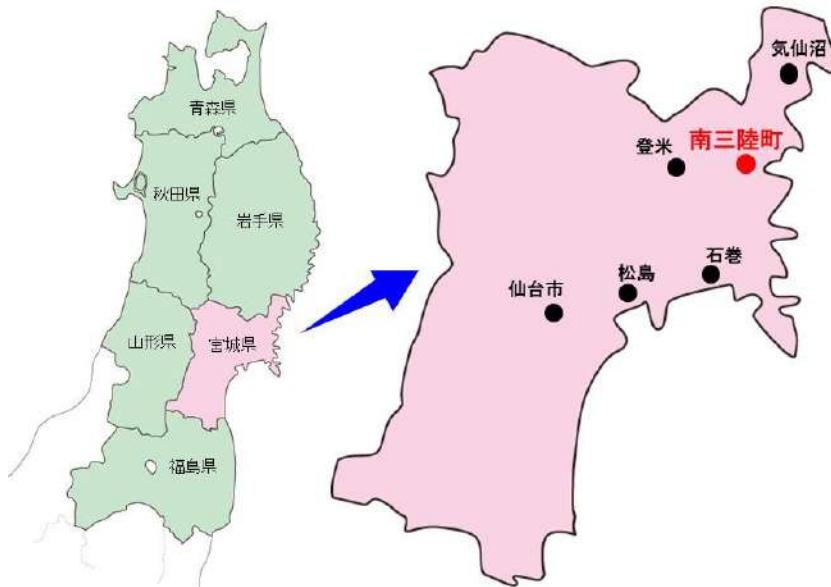
紙芝居の良い点



今後に向けて



南三陸町の紹介



宮城県の北東部に位置
漁業や林業の産業が盛んな町

人口 12,732人 4,522世帯
(令和元年10月末)



南三陸町の紹介 復興状況



南三陸町の紹介 復興状況



紙芝居を用いた経緯

南三陸町の地域性

- お酒に寛容である
- お酒の問題があっても、周囲が許容する

東日本大震災

- 災害後には、地域の飲酒量が全体的に増加する
- 災害前から飲酒問題を持っていた人は、災害後に飲酒問題が悪化する

と言われている

お酒について
正しい情報を
伝えたい

どうしたら分かりやすく
伝えられるだろうか...?



紙芝居を用いた経緯

住民に分かりやすく
伝えたい



南三陸町保健福祉課
健康増進係

紙芝居による
普及啓発活動をしていた



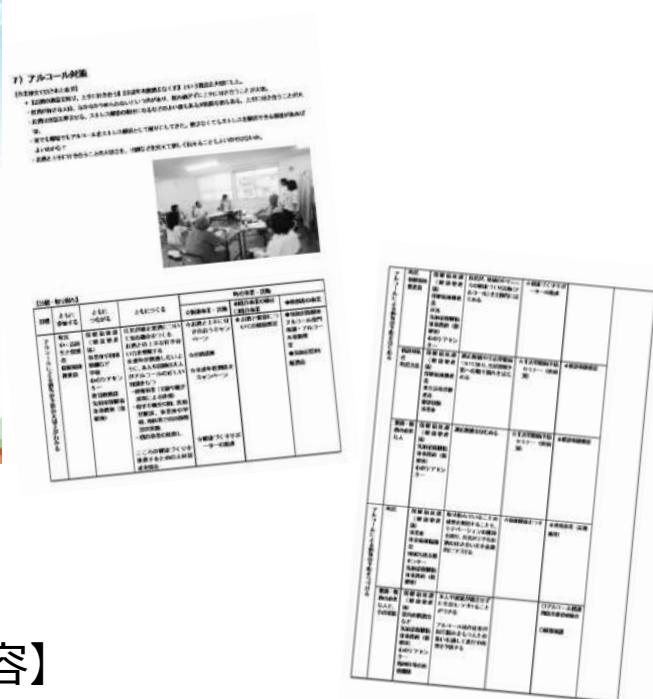
みやぎ心のケアセンター
気仙沼地域センター

課題の共有・検討

お酒について紙芝居を使って伝えよう



打合せから制作まで



町と心のケアセンターとの
打合せ



【具体的な内容】

- ◆ 適正飲酒について知る
- ◆ お酒との上手な付き合い方を理解する
- ◆ 飲酒している本人や家族が
孤立せずに生活し続けることができる



気仙沼地域センターで案を練る

打合せから制作まで 「5つの工夫」

- ① 物語のベースは日本の昔話に
- ② 地域色を盛りこむ
 - ・町のキャラクターを登場させる
 - ・方言を取り入れる
 - ・地元の産業（浜の作業）を取り入れる
- ③ 1話 20分で簡潔に
- ④ 読み手の動きをつける
 - ・指棒で示す
 - ・パーツを貼る
- ⑤ 理解しやすいように
 - ・クイズを盛り込む
 - ・具体的な量がわかるようにカップを用意



打合せから制作まで「パッケージ化」

手作り紙芝居 +



- 導入時のアナウンス
 - ・見ていただく理由
 - ・意識して聞いてもらいたいポイント
- 紙芝居後の○×クイズ
- リーフレットの配布
 - ・紙芝居の内容をまとめたもの
 - ・市販のリーフレット



誰でも手軽に、効果的に伝えられる



実施してみて

「健康相談会や 自主活動グループの集まり」



実施してみて 「福祉・健康まつり」



紙芝居の良い点

参加者側

- 楽しみながら、自然に学ぶことができる
- 親しみやすく、お酒の内容でも抵抗感が少ない
- 飽きずに参加できる

実施側

- 事前の準備が少なく、手軽に取り組みやすい
- 時間の目安がつけやすく、既存の事業へも組み入れやすい
- 誰でも一緒に取り組める



今後に向けて

手軽で簡単

練習なし
でも大丈夫

楽しく
伝えられる

他の活動に
組み入れやすい



町民と一緒に・・・



ご清聴ありがとうございました



11月～2月はキラキラいくら丼です。
鮮度の高い極上イクラが、口の中で
プチプチと弾けます。

南三陸町内には7体の
モアイ像があります。
探しにきてください。



このマンホール
はどこにあるで
しょう？

